

知っておきたい!

自転車のルールとマナー

暖かくなり、買い物やお出かけなどで自転車に乗る機会が多い季節になりました。自転車はとても便利ですが、危険も多く、乗っていてヒヤッとした経験がある人もいるのでは...?

今回は、安全に自転車に乗るためのルールやマナーについて川西警察署の越田さんにお話を伺いました。

▼問合せ 生活安全課 (☎766・8703)



川西警察署交通課 越田 草義 警部補

特派員 春は自転車事故が増えると言いますが、本当ですか？

越田 その通りです。通学や通勤などで自転車に乗り始める人も多く、交通事故が多発する傾向にあります。

特派員 確かに、交通安全運動が行われるのも4月ですね。実際に交通事故はどれくらい発生しているのですか？

越田 令和元年に町内で発生した交通事故は62件。そのうち約25% (16件) は自転車に関わる事故です。

特派員 思っていたより、自転車事故の割合って高いですね。

越田 事故の多くは信号無視や標識の見落としなどのルールを守らないことが原因です。自転車には免許証取得の必要があり

ませんが、車と同じ「車両である」という意識をもって、自ら交通ルールを学び、安全運転に心がけてください。その他、気を付けてほしいことをまとめたイラストがこちら(左上)です。



運転者は対策を！ 事故を減らすために...



自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう。もしもの事故のとき、ヘルメットは頭を守ってくれます。

また通行時、歩行者と接触する可能性もあるので、車道を走りましょう。しかし、13歳未満、70歳以上の人は歩道を走ることができます。



つつい... こんなこと、していませんか？ 大事故にもつながる禁止行為

携帯電話をさわりながら、イヤホンをしながらの危険運転



歩行者との接触多発。 運転に集中を!



加入していますか!? 自転車賠償責任保険



越田 事故を起こすと、自分自身だけでなく相手にもけがを負わせたり、最悪の場合、命を奪ってしまう可能性もあります。

特派員 最近では、携帯電話などを操作しながらの事故も増えているんですね。

越田 そうですね。過去には、不注意やルールを守らなかったことにより事故を起こし、事故加害者へ1億円におおよぶ高額な賠償命令の判決も出ています。事故を起こさないようにすることはもちろんですが、県では自転車の「保険加入を義務化」しているのです。未加入の人は早急に参加するようにしてください。

ください。

特派員 事故を減らすため、ほかに私たちが気を付けなければならぬことはありますか？

越田 自転車に限らず、乗り物を運転する際には時間にゆとりを持ち、譲り合いの気持ちを持ちましょう。いつも通っている道だから大丈夫と思わず、細心の注意を払い運転してください。自分自身のため、大切な家族のために一人ひとりが交通ルールやマナーを守り、事故のない社会を作っていきましょう。

特派員 越田さん、ありがとうございました。

編集後記

一人ひとりがルールを守ることで事故は減らせるんですね。みんながマナーを守り、安全運転に取り組んでいきましょう。

鈴木「猪名川町を知りたい！」と、特派員になって2年。取材を通してたくさんの人と出会い、多くの人の頑張りや笑顔に触れてきました。わが子たちのふるさとは、これからも元気いっぱいいるのまちでありますように。2年間ありがとうございました♪